

### 3.4 基準値設定までの手順, プロセス

#### 3.4.1 基準値設定の手順

図 3.1に, エネルギースターにおける基準値等設定の手順を示す。

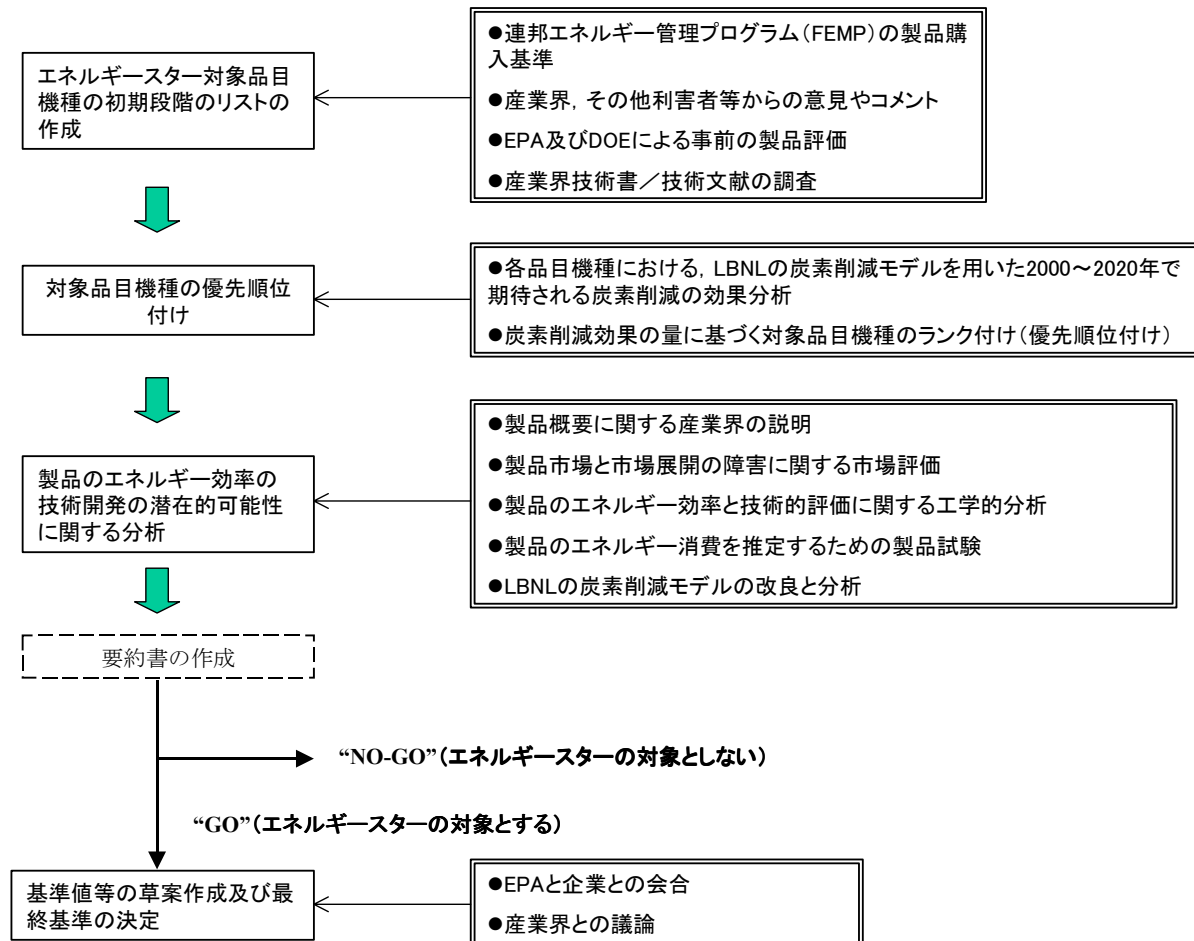


図 3.1 エネルギースターにおける基準値等設定の手順

#### 3.4.2 基準値設定に至るプロセス

エネルギースターでは, 以下の4つのプロセスにより, 基準値設定の検討が行われる。

##### (1) エネルギースター対象品目機種の初期リストの作成

次の4つの情報を用いて, 新たにエネルギースターの対象とする品目機種の初期段階のリストの作成が行われる。

- ・ 連邦エネルギー管理プログラム (FEMP) の製品購入基準
- ・ 産業界, その他利害関係者 (消費者団体を含む) 等からの意見やコメント
- ・ EPA 及び DOE による事前の製品評価
- ・ 産業界技術書/技術文献の調査

## (2)対象品目機種種の優先順位付け

エネルギースターの基準を新たに作成または改定するための対象品目機種種リストの作成後、機種種の優先順位付けを行う。この優先順位付けにおいては、ローレンス・バークレイ国立研究所（Lawrence Berkeley National Laboratory : LBNL）が開発した炭素削減モデル（詳細は不明）を用いて、各品目機種種における 2000～2020 年で期待される炭素削減の効果を分析する。炭素削減の効果量に基づき、品目機種種のランク付け（優先順位付け）を行う。

## (3)製品のエネルギー効率技術開発の潜在的可能性に関する分析

対象品目機種種の優先順位付けの完了後、各品目機種種に対して、製品のエネルギー効率等に関する技術開発の潜在的可能性について評価する。この評価は次のプロセスにより行う。

- ・ 製品概要に関する産業界からの説明（製品の内容を把握することを目的とする）
- ・ 製品市場と市場展開の障害に関する市場評価
- ・ 製品のエネルギー効率と技術的評価を目的とした工学的分析
- ・ 製品のエネルギー消費を推定するための製品試験

以上の分析・評価に関するデータがすべて収集された後、EPA は、最新情報に基づき品目機種種ごとに LBNL の炭素削減モデルを改良して、潜在的技術開発に基づくエネルギー削減量を計算する。この分析の終了後、要約書が作成され、エネルギースターの対象機器として各品目機種種について基準作成を行うか否かの意思決定（”GO”または”NO-GO”）を行う。

この意思決定は、次の要素に基づいて行われる。

- ・ 費用対効果
- ・ 技術利用の可能性
- ・ 技術導入の容易さ
- ・ 産業界のサポート
- ・ エネルギースターによる効果の認知度

## (4)基準値等の草案作成及び最終基準の決定

特定の品目機種種に関する基準値等の作成に関して、”GO”の意思決定が下された後、当該品目機種種製品の基準値等の草案を作成する。

エネルギースターでは、産業界と共同して基準値を開発することに特徴がある。EPA のスタッフによる企業訪問、製品展示会での意見交換等を含め、製品の基準値等の草案に関して、EPA の製品基準作成チームがさまざまな方法で産業界と議論を重ねる。このような議論を踏まえて、基準値や試験手順に関する最終基準が作成される。